

地域SNS「けいはんな」のご案内

地域SNS「けいはんな」って？

けいはんな学研都市に住んでいらっしゃる方、働いている方、学んでいる方、み～んなをつなぎたい。まちづくりは人と人のネットワークづくりから。みんなで仲良くなって身近なまちづくりをやりたいな、ご近所の企業さん同士の連携で学研都市発のものづくりをしてみたいな。だから、人と人をつなぎたい。

そんな思いで地域SNS「けいはんな」は生まれました。

今、全国各地で地域SNSが立ち上がっています。mixi（ミクシィ）など全国規模のコミュニティサイトとは違って、地域SNSでは人の顔の見えるリアルなお付き合いが基本です。「私たちのまちが好き！」、「自分たちの住むまちをもっともっと良くしたい！」、「地域を盛り上げようぜ！」。そんな人たちが集まってワイワイ、ガヤガヤと新たなネットワークづくりが広がっています。

地域SNS「けいはんな」は、「学研都市にもぜひ地域SNSを！」との熱き思いを持った人たちが集まって、2007年2月にお試し版がスタート。同年11月3日（文化の日）に正式サービスが始まりました。

子育てお母さんたちのネットワークづくりや、学研都市にある小中高校の先生たちと研究者との交流の場づくり（「科学のまちの子どもたちプロジェクト」）、市民の手づくりで学研都市の「市民雑学大学」をつくる取り組み、全国の地域活性化に取り組むキーパーソンたちによる地域間交流などなど、すでにいろんな形で地域SNS「けいはんな」の活用が始まっています。

どんなことができるの？

■日記を書こう

ふだんの何気ない「日記」で井戸端会議。地域SNSでは、友人同士の日頃の井戸端会議が一番大切です。ぜひ、あなたも日記を書いてみましょう。もし日記を書くのが恥ずかしかったら、友人の日記に気軽にコメントしてみましょう。

自分の日記データはいつでも一括ダウンロード可能。「自分史」の発刊も簡単です。

■コミュニティに参加しよう

気の合う仲間は「コミュニティ」をつくって、お洒落な駄洒落や俳句から、おいしいお勧め店の情報交換も。メンバーへの一斉連絡機能はもちろん、いろんなイベントの企画打ち合わせや参加者募集にも使えます。小さな市民活動団体にとって、この事務局支援機能はありがたい！

■ツール満載

「日記」や「コミュニティ」では、デジカメで撮った写真データのほか、地図（Google マップ）や動画（YouTube）の共有も簡単にできます。

また、PDF ファイルで保存したファイルなら、かわら版や会議資料として「コミュニティ」に掲載できます。

SNSって、心配ないの？

■信頼のネットワーク

地域SNS「けいはんな」では、信頼のネットワークづくりのために、招待者からの招待がなければ参加できないだけでなく、実名での登録を基本としています。

また、招待者があなたのサポーターとなる「サポーター制度」を取り入れています。困ったことやわからないことは招待者に相談してみましょう。

■安全安心ネットワーク

地域SNS「けいはんな」は一般の商用ブログや他の一部の地域SNSとは違い、閉じたネットワークサービスです。

あなたが日記などに書いた情報は外部から閲覧できません。Google などの検索サービス会社によって知らない間に情報収集されることもありません。

友人・知人から招待状メールが届いたら、登録してみましょう。

sns.keihanna-city.com

運営主体：

けいはんな地域SNS研究会 (<http://keihanna-city.com/>)

代表：藤田忍（大阪市立大学大学院教授、奈良市在住）